

令和7年度 自己評価結果公表シート

学校法人 四葉学園

四葉幼稚園

1、本園の教育目標

人間形成の土台となる幼児期に、キリスト教教育を基盤にして一人一人の子どもの個性を尊重しつつ、その個性を伸ばし、子どもの心身の成長・発達を促し、とりわけ心の教育・精神教育・情操教育を重視している。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

新制度発足後数年が経過し私学助成が激減する中、本来の幼児教育に立ち返り、保護者のニーズを確認・検討しつつ、幼稚園の役割を園全体で把握し幼稚園でしか出来ない教育の追求の継続を図ること。また、2歳児保育の無償化が市内で発足されたことを機に、本園でも2歳児の未就園児クラスの内容の拡充をはかる。引き続き満3歳児保育からの入園者を獲得するため、4年保育の定着を目標に、満2歳児の緩やかな母子分離と心身の発達に即した内容の精査をし、保育所・認定こども園とは違う幼児教育の差別化に向けてさらに努力する。また、新たな取り組みとして、在園児の兄弟(0・1歳児)を対象にした無料のあそび場を試験的に実施する。今後、幼稚園の場が子育てをする世帯にとって憩いの場となるように、更なる教育活動の拡充を目標とするため実施する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育内容を見直し、変更・改革に取り組む。	新幼稚園教育要領に基づき、教職員間で教育内容の刷新、変更を図る。園児の直接体験を重要視し、自然活動(園内畑の活用等)の充実を図る。
保護者のニーズを理解し、保護者への対応に努力する。	保護者の不安や心配を払拭する様な懇談会等の充実、キンダーカウンセラーの先生によるカウンセリングの実施、教員に対する研修、日常保育において保護者の満足を得られる様に、教師全体での話し合いを進めている。
教師の成長の為の継続的な研修の参加、および資格取得。	自園だけではなく、教師自身が自分を見つめる機会を得て成長する機会を設ける。具体的にはモンテッソーリ教師0～3歳資格を2名が取得。また、支援教育の研修を継続的に2名の保育者が受講し、講師の方にも園内の視察に来園頂くなど、より実質的な研鑽と、教師の資質向上を図る。
現段階における幼稚園の状況を的確に受け止め、今後の目標を新たに策定する。	幼稚園の位置付けをいかに保護者に理解して選んでもらえるかアンケートの実施などを通し、認定こども園や保育園との明確な違いを表明する為に、より具

	体的な課題を追求している。
安全に配慮した環境づくり(施設の改善)	未就園児用の園舎拡充のための改修工事を実施。 また、保育室や園庭の環境整備、定期的な遊具の点検清掃を実施している。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教職員各々が各自の仕事に責任を持ち、本園の教育理念を理解すると共に、常に話し合いの場を持ちながら更なる教育・保育の充実を図る努力を継続した。

また、どの学年の教師も担当する学年だけではなく自園の教育内容とそれぞれの子どもの状況をよく理解し、日々課題や問題が生じた際の円滑な話し合いや共有体制の定着のおかげもあり、各園児及び保護者への対応にも齟齬が生じることもなく、本園が大事にしている幼児教育を提供することが出来るようになってきている。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
幼児クラスの日々の保育内容の精査、幼稚園としての特色差別化、保護者支援の観点から乳幼児期の保育内容の精査と拡充	教育・保育の内容を丁寧に分析し、新しいものと古いものとの融合を実践しながら高度な幼児教育を考慮する。また、減少する私学助成園として、より保護者と近い距離で、こどもの育ちにとってより良い教育内容の精査と、選ばれる幼稚園になるために各教職員の資質向上、研鑽を図る。また、昨今の乳幼児期からの早期保育の傾向から、幼稚園として出来る乳幼児保育の内容、サービスをより同市内の保護者の動向を鑑み、精査していく。
安全管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の確立	各自が園内の避難経路や役割分担を自覚して、安全に対する意識の向上に努め、所轄の消防署から消防士を招き、火災避難訓練、不審者に対応する為の防犯訓練、防災(地震)訓練の実施。 自園の地震・災害・防災マニュアルの見直し。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき点はなく、妥当であると認められる。早朝保育の継続、通常預かり保育の時間延長、長期休暇預かり保育の実施・延長、休日(土曜日)預かり保育の実施 等、保護者のニーズに答えると共に園児に対する有意義な教育・保育を進めている。又、満3歳児クラスをより広めるためにも、プレスクール(2歳児親子教室)との連携を図りながら内容を考慮し、現在の社会情勢において倫理的・道義的に高度な教育がなされている。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されている。

